

令和7年度 山梨県自殺防止センターの取組内容について

事業名		取組内容	実績
調査研究	自殺対策調査研究事業	○企図行動に対するゲートキーパー養成研修受講者の態度に関する調査 調査対象：ゲートキーパー養成研修を受講した一般県民105名 調査目的：ゲートキーパー研修受講者の自殺に対する態度に関連する傾向を明らかにし、今後の研修内容の改善に活用する。 調査項目：Attitudes Towards Suicide Scale 日本語版 (ATTS 日本語版) を研修前後に実施。 調査期間：令和7年12月	○左記取組内容のとおり実施した。 今後、報告書をホームページに掲載予定。
人材育成	自殺対策企画研修	○市町村・保健所の自殺対策担当者のための研修会 内容：報告「山梨県の自殺対策について」 報告者：山梨県自殺防止センター 職員 講義①「地域における自殺実態の把握に向けての資料の活用（地域自殺実態プロファイル等）」 講師：いのち支える自殺対策推進センター 地域連携推進部 坂口 敦子 氏（中部北陸地区担当） 講義②「山梨市におけるモデル事業について」（モデル事業を始めた経緯、モデル事業の状況報告） 報告者：健康増進課、山梨市役所 職員	○令和7年8月26日（火） 市町村、保健所職員等 24名
	自殺関連問題相談支援研修会	○ゲートキーパー指導者養成研修会 内容：講義「本県の自殺の現状及び自殺に至る心理的過程と精神疾患との関係」 講師：精神保健福祉センター所長 志田 博和 講義・演習「相談の基本～悩みを抱えた人への接し方～」 講師：心理臨床オフィス・ルーエ 深沢 孝之 氏 講義「実施する際の注意点について」 講師：自殺防止センター職員	○令和7年7月2日（水） 各保健福祉事務所、市町村、 いのちのセーフティネット相談窓口関係機関の担当者等 31名
		○ゲートキーパー指導者フォローアップ研修 内容：講義「ゲートキーパーの養成の今と自殺の背景について」 講師：山梨県立精神保健福祉センター 所長 志田 博和 説明「ゲートキーパー養成研修における伴走型支援の実施について」 説明者：山梨県立精神保健福祉センター職員 報告「ゲートキーパー研修の実施について」 発表者：富士東部保健所 地域保健課 福本 彩心 技師 報告「青木ヶ原ふれあい声かけ事業の監視員の声かけ」 発表者：株式会社ルフラン社員、富士五湖ダルク職員（青木ヶ原ふれあい声かけ事業監視員）	○令和8年2月4日（水） 市町村、医療機関、保健所職員等 13名
	心の健康づくり推進事業 （若年層対策事業）	○若年層の自殺対策に主体的に携わる人材を養成するための研修会 内容：講義・演習「思春期のメンタルヘルス」 講師：一般財団法人 YOKA 理事 中嶋 彩 氏	○令和7年12月2日（火） 教職員、SC、SSW、市町村及び保健所職員等 51名
	自殺事後ケア支援事業	○自死遺族支援者研修会 内容：講義「大切な人を自死で亡くされた方にできること」 講師：いのち支える自殺対策推進センター 自殺総合対策部 自死遺族等支援室長室長代理 兼 総務部総務室室長 秋田 整 氏	○令和8年2月13日（金） 市町村、保健所、その他相談機関等 25名
自殺未遂者・見守り支援体制整備事業	○二次救急医療機関等に搬送された自殺企図者の再企図防止のため、二次救急医療機関と地域の連携及び地域の見守り支援体制を整備するため、 要請のあった二次救急医療機関への個別研修会を開催した。 内容：二次救急医療機関自殺未遂者対応手順マニュアルの活用について ○地域見守り支援部会は、前年度までに部会において「二次救急医療機関 自殺未遂者対応手順マニュアル」を作成し、二次救急医療機関への個別研修会により 普及が進んでいる状況から、検討事項が生じた場合の随時開催とした。 ○自殺未遂者見守り支援体制整備事業個別研修会	○地域見守り支援部会 検討事項が生じた場合の随時開催とし今年度中の実施無し ○自殺未遂者見守り支援体制整備事業個別研修会 令和7年8月21日（木） 甲府共立病院 16名 医師、看護師、相談員等	
山梨いのちの電話相談員研修会補助金	○山梨いのちの電話が実施する自殺予防の電話相談員を確保するため、相談ボランティア養成研修に対し補助金を助成した。	○相談員養成研修 4名養成（予定） ○公開講座、電話相談実習等	

事業名		取組内容	実績
相談支援	こころの健康相談統一ダイヤル	○心の悩みを抱えた人の電話相談を実施【365日24時間（平日12時～13時を除く）】	○3, 0 3 9 件（R8.1末）
	多重債務者等こころの健康相談	○法テラスの無料法律相談時に保健師による心の健康相談を実施した。 月2回（第2、3火曜日 午後1時～4時）	○実施回数22回 相談件数35件（R8.2末）
	自殺再企図防止ケア事業 （三次救急医療機関）	○県立中央病院の救命救急センターに搬送された自殺企図者に対し、病院からの要請に応じ、ライフコーディネーターを派遣し継続支援を実施した。	○ライフコーディネーター派遣 *継続フォローアップ件数 2件
	自死遺族への相談支援	○自死遺族への電話相談・所内面接	○個別相談（電話・面接）33件（R8.2末）
	精神保健福祉相談	○自殺防止に関する相談	○個別相談（電話）83件（延べ） （面接）2件（R8.2末） ○関係者との連絡・調整・会議 23件（延べ）（R8.2末）
連携推進・技術支援	山梨県いのちのセーフティネット連絡協議会	○自殺予防に関して県内の関係機関、関係団体が連携を強化し、総合的な自殺予防対策の推進を図ることを目的に協議会を開催した。（年2回）	○第1回 令和7年7月17日（木） ○第2回 令和8年3月（書面）
	関係者への技術支援	○自殺対策に関する情報提供、技術支援等 ・県・市町村の自殺対策推進計画進捗状況確認 ・市町村の自殺対策計画策定会議等への参加 ・いのち支える自殺対策推進センターからの研修案内等情報提供	○進捗状況確認 1回 ○会議への参加 2回（R8.2末） ○情報提供 23回（R8.2末）
		○各保健所地域セーフティネット連絡会議等への出席 会議：地域セーフティネット連絡会議、いのちをつなぐ青木ヶ原ネットワーク会議、ハイリスク地会議等 研修：地域セーフティネット研修会	○会議出席 7回（R8.2末） ○研修会参加 2回（R8.2末）
		○市町村ゲートキーパー養成研修の支援 市町村が開催するゲートキーパー養成研修での講師、情報提供、 伴走型によるゲートキーパー養成研修開催支援 市町村が開催するゲートキーパー実施状況調査	○実施状況調査（随時） ○市町村等における実施状況 実施市町村の数 13市町村 伴走型支援による技術支援実施数 3カ所 養成者数 1638人（R8.2末）
		○ゲートキーパー養成研修の実施 関係機関からの要請によりゲートキーパー養成研修を行った。	○県におけるゲートキーパー養成状況 県職員 141名（実施回数2回） 一般県民 67名（実施回数1回）
広報啓発	相談窓口広報事業	○広報啓発パンフレット「気づいて！こころといのちのSOSサイン」の作成・配付 （掲載内容） 自殺対策、自殺統計、自殺に関する知識、ゲートキーパーの役割、気づき・声かけ・傾聴のポイント、相談窓口 （配付先） 市町村、保健所、大学・専門学校・高校・中学校・特別支援学校、精神科医療機関、警察署、消防本部等	○パンフレット 作成部数 4, 000部 配布部数 約3, 550部（R8.1末）
		○救急搬送された自殺未遂者への相談窓口を周知する携帯型カードの作成・配付 （掲載内容） こころの健康相談統一ダイヤル及び精神保健福祉センターの電話番号、山梨県いのちのセーフティネット相談窓口一覧（QRコード） （配付先） 二次及び三次救急医療機関、消防本部、警察署、市町村、保健所等	○携帯型カード 作成部数 5, 000枚 配布部数 約4, 500枚（R8.1末）